

## 鎌倉との出会い

作家・永井路子さんの文章

「歴史の町にいらわわしく、はじめて鎌倉を訪ねた方は、いやでも歴史そのものの中に踏み込んでおくことになる。なぜなり最初に歩かれるはずの道は、鎌倉の歴史のプロローグを告げる道であるからだ。まさに鎌倉は“はじめに道ありや”なのである。

鎌倉めぐりで、誰もが足を向けるのが鶴岡八幡宮。駅の広場を突っ切って左を見ると近くに赤い大鳥居があり、わざわざその奥に朱塗りの鳥居や社殿が見える。

その社殿に突き当たる広い道が、名も若宮大路である。そしてこれこゝ十

一世纪の終りに鎌倉入りした源頼朝が、必ず手始めに作りせた道なのだ……」  
(永井路子の「私のかまくら道 鎌倉の歴史と隠れよひ」)

この素晴らしい文章に出逢い、そしてこの本を参考にして鎌倉を歩き、源頼朝が歴史上初めての「武家政権」を成立させってきた過程と、古都・鎌倉の息吹きに魅了されできました。

さらに鎌倉時代-源頼朝から足利政子を経て、北条執権政治終焉-の約五十年間の物語を、願わくば、同行の士と語らい、散策しながら、鎌倉の歴史文化の空氣を共有し、心豊かな一日であつて欲しいと思い「鎌倉の散策コース」を企画してみました。

テーマとして、概略ですが、

① 源氏が鎌倉に根付いた理由

② 平氏と源氏の勢力争い

③ 源頼朝の出生と伊豆配流

④ 源頼朝の鎌倉幕府創設

⑤ 政子と北条家の執権政治物語を基本として、これに枝葉をつけて同行の士と共に楽しく作り上げていきたものです。

そして「鎌倉の散策コース」の一日が、歴史を作り上げてきた人、また、歴史上には登場しない名もなき人への感謝と、じ自分の家族、友人と楽しむ語らいの糧となつていただければ望外の幸せと感ずるもののです。